

FAX No. 092-724-8108

九州防水改修工事協同組合 事務局 行

改修セミナー大分 2015 参加申し込み書

貴社名

ご住所

電話番号

FAX 番号

メールアドレス

お名前

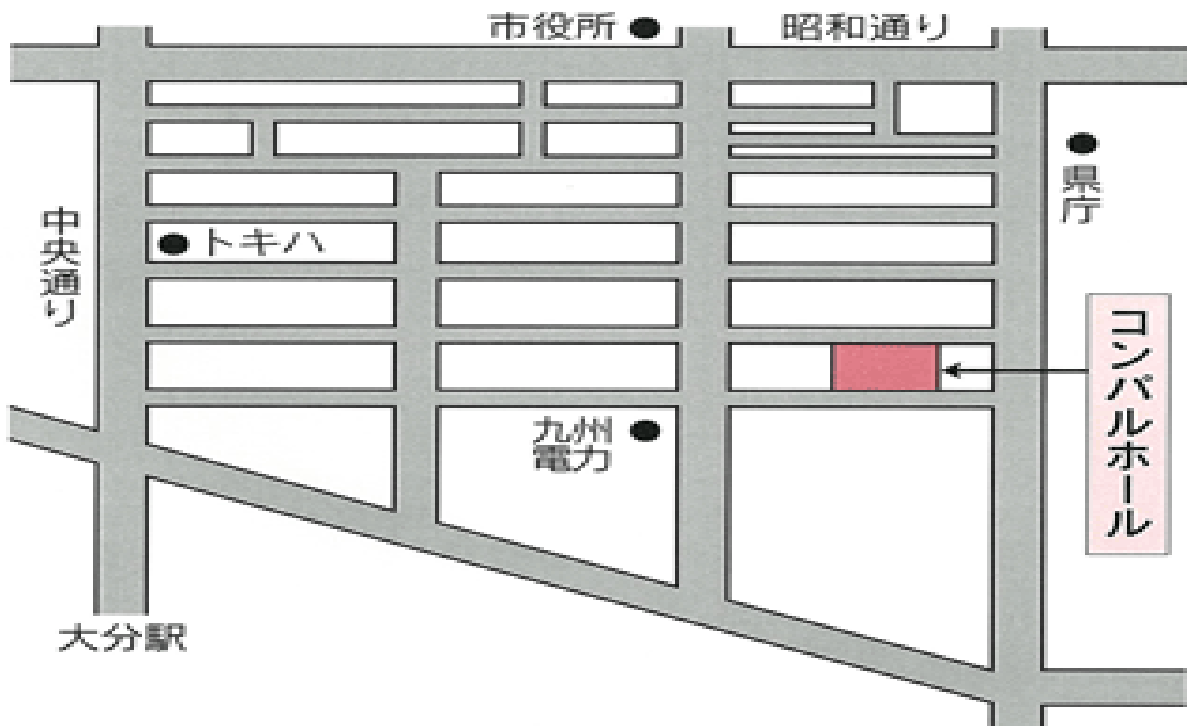
お名前

お名前

お名前

※定員に限りはありますが、一社何名様でも申込可能です。

会場案内図 大分市コンパルホール 305会議室 大分県大分市府内町1-5-38



交通アクセス

鉄道: JR大分駅下車 徒歩5分

バス: 大分駅停留所下車 徒歩5分

駐車場: 地下、屋外に駐車場がございます。

※本会場は駐車場が有料となっております(30分 100円)。ご了承ください。

改修セミナー 大分 2015

開催のご案内

- ① 各種防水工法・防水材料の特性
- ② 防水工事の改修と仕様選定
- ③ サーモコントロール断熱
- ④ 床仕上げ材「居ながら改修」

九州防水改修工事協同組合

 **TAJIMA**

平成 27 年 7 月 吉日

改 修 セ ミ ナ ー 大 分 2 0 1 5 開 催 の ご 案 内

謹啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、我が国における建物ストック量は増加の一途を辿っており、これに伴い改修工事の需要が同様の傾向であることは特筆するまでもなく、防水工事におきましても例外ではありません。

近年、省エネの問題をはじめ、環境関連分野における国家としての取り組みはこれまで以上に熱を帯びたものとなっており、改修工事における新たな省エネ技術が日々注目されております。

この度、多岐にわたる防水材料・防水工法についてその特徴や特性といった基本的な内容から、防水工事の改修事例、仕様選定の方法について、その他、改修工事でも行える省エネ対策として『屋上の断熱・遮熱』に関わる工法をご説明させていただきます。

また今回は、室内の改修工法「居ながら改修」についてもご紹介いたします。

ご多忙の折とは存じますが多くの皆様にご参加賜われます様、よろしく願い申し上げます。

謹白

記

日時：平成 27 年 8 月 26 日(水) 14:00~16:30 (13:45開場)

会場：大分市コンパルホール 305 会議室 大分県大分市府内町 1-5-38

※裏面参加申し込み書を 8 月 19 日(水)までに FAX にて送信下さい。

※会場の都合上、応募多数の場合は先着順にてご案内させていただきますのでご容赦下さい。

※本セミナーに関するお問合せは、九州防水改修工事協同組合事務局、担当 福田まで
お願いいたします。 TEL 092-724-8030 FAX 092-724-8108

○セミナーの内容○

第1部 各種防水工法・防水材料の特性

防水材料・防水工法の種類は多岐に渡ります。公共建築改修工事標準仕様書の中にも多数の工法・仕様が存在し、それぞれに長所・短所を有します。

ここでは主に屋上防水で使用される各種防水材料と防水工法における、特性と特徴についてご説明いたします。

第2部 防水工事の改修と仕様選定

改修工事は新築工事とは異なり、屋上の状況や状態によって仕様や工事内容が決定されます。実際の改修現場を例にし、仕様選定や下地処理の方法のご説明いたします。



アスファルト防水弾丸コンクリート仕上げ
仕様耐用年数 約17年(20~32年)



アスファルト防水露出砂付仕上げ
仕様耐用年数 約13年(17~22年)



合成高分子シート防水
仕様耐用年数 約13年



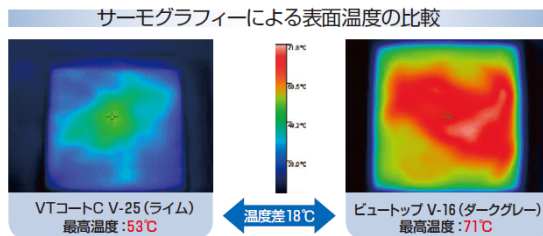
ワレタン塗膜防水
仕様耐用年数 約10年

※本表はあくまで目安であり、実際の耐用年数は現場の状況や施工状況によって異なります。

	撤去工法	かぶせ(再生)工法	機械的固定工法
解説	既存防水層を全面撤去し、新築時の下地に新規防水層を施工する。	既存防水層の不良部のみを撤去し、適切な下地処理を施した上で、新規防水層をかぶせて施工する。	かぶせ工法の一つ。既存防水層の上から、下地に穴を掘って新規防水層をアンカー固定する。
騒音	既存撤去の際に騒音、振動が発生。	騒音、振動は少ない。	アンカー固定の際に騒音、振動が発生。
工期	撤去工事期間分、工期が長引く。	撤去工法に比べ、工期短縮が可能。	撤去工法に比べ、工期短縮が可能。
コスト	撤去工事、廃材処分費の計上が必要。	撤去工法に比べ、安価。	下地処理が簡略化できるため、安価。
作業	廃材搬出等、周辺に対し危険作業がある。	周辺環境に対し安全性が高い。	周辺環境に対し安全性は高いが、騒音が発生。
養生	撤去後、防水層施工前の漏水への配慮が必要。	既存の防水性能が期待できる。	既存防水層の機能が完全に失われる。
環境	撤去廃材は産業廃棄物に該当する。	産業廃棄物が少ない。	産業廃棄物が少ない。
新規防水	さまざまな工法の選択が可能。	既存と新規の防水材料の相性を考慮する必要がある。	AICなど下地構造の問題を抜き、既存防水層との相性を考慮せず、換装が可能。
考察	既存防水層が撤去すべき状況の場合は、撤去工法を採用しながら、次回改修時にはかぶせて改修可能な仕様を決定するとメリットがある。	既存防水層を再度下層防水層として利用しながら新規防水層を形成するため、信頼性・耐久性が高い。現在の防水改修の主流。	既存防水の状況が非常に悪い場合は、メリットあり。次回改修は薬剤撤去工法となる。

第3部 サーモコントロール断熱

近年、省エネ対策や防災対策が注目され、屋上にあるスペースの有効利用への関心が高まっています。今回は、今やブームになりつつある、断熱・遮熱などの工法と防水改修との組み合わせについてご紹介いたします。



第4部 床仕上げ材「居ながら改修」

施設を使用、稼働しながらの「居ながら改修」では、業務への支障や利用者の不便を最小限に抑える必要があります。今回は工事に伴う騒音や振動、臭い等の発生を抑え、工期を短縮するための床仕上げ材の選定と工法についてご紹介いたします。

